

第 9 期 小金井市地域自立支援協議会 部会活動報告

部会名	相談支援部会
開催日時	令和 7 年 9 月 17 日（水）18:00～19:00
記録担当委員	川田 義廣
<p>【協議概要】</p> <p>1 出席者 佐々木部会長、新井委員、金澤委員、田口委員、近江屋委員、川田（山崎委員欠席）</p> <p>2 配布資料 資料 1 計画相談支援のしくみ 資料 2 相談支援事業所連絡協議会で協議された事項について</p> <p>3 報告事項 資料 1 障害者支援法に関わる厚労省ホームページ掲載の図を説明。 資料 2 相談支援事業の現況について幾つかの課題を説明。人員の不足、待遇改善、職場環境の整備、相談員従事者要件、研修、相談員の力量のばらつき、相談対応時間などの課題が指摘された。 事例検討においては地域体制強化共同支援加算を前提としたい。</p> <p>4 協議事項 ・計画相談事業について、小金井市の行政としてミニマムの在り方を前提した議論でなければならない。 ・現在は、相談員は法定数としては充足しているが、実体は充足していない。 ・現実には、障害者が計画相談をセルフプラン出来ることはほとんどない。また介護保険外として線引きの出来ないことが多く、計画相談員の数は足りていない。 ・セルフプランをやれる仕組みが必要である。 ・コロナ以後、相談員の募集をしても応募者がいない。従事者要件や、研修などがハードルになっている。 ・相談員一人当たり 35 件／月が上限となっているが、事業所の業務に変動があり目標値の設定は難しく、兼務もあり採算上そこまで対応できない。介護保険の単金は 1 件約 1 万円である。 ・1 件当たりの所要時間も 15 分から 30 分。障害者の場合はさらに長くなる。 ・ケアマネは 36 か所で 80 名くらいいるが、入れ替わりがなく高齢化している。若くても 30 代である。1 事業所にケアマネが 1 人の場合もある。 ・事務作業や記録業務などに ICT を導入して業務負担の軽減が必要である。</p>	
次回開催日程 令和 7 年 11 月 12 日 18:00～	

